

高みを目指す

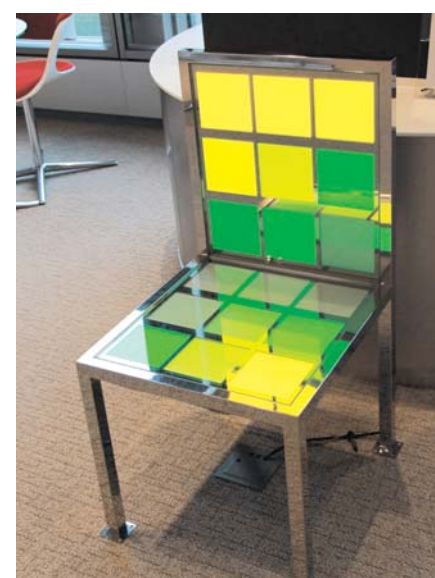
化学産業



京浜工業地帯川崎地区に浮かび上がるプラント



第44回国際化学オリンピック米国大会では日本代表全員がメダルを獲得(左から加藤さん、副島さん、山角さん、澁谷さん=5面)



有機ELの熱くならない特徴は
さまざまなデザインに活用できる(8面)

「化学は身の回りにあふれ、どこでも手を伸ばせば触れられる距離にある。生活には化学が必要で、さまざまな分野で製品の性能を高めるためにも求められる。こうした化学が持つ可能性は当たり前前の存在になつてしまいがちだ。液晶テレビ、電気自動車(EV)、スマートフォン(多機能携帯電話)など、新しい製品の誕生には必ず化学産業の貢献がある。

また、化学企業は一丸となつて環境問題の課題解決に積極的に取り組んでいる。化学製品は省エネを実現する高機能製品の誕生を支え、二酸化炭素(CO₂)削減の要になる。その半面、危険性もはらんでいるため、リスクの研究には企業が力を合わせ、取り組んでいる。

人材育成にも力を注ぐ。これからの日本を支えるのは化学であることを見越して、日本が世界をリードする技術を生み出すため、次代を担う化学好きな子どもを増やす機会を提供している。それらの能力を最大限に引き延ばす取り組みも行っている。

国内需要の伸び悩み、海外市場での競争激化など、日本は厳しい状況に取り囲まれている。この壁を打破するためにも、日本が持つ化学の技術を汎用品にはない「付加価値」として高めていくことは重要だ。政府、企業、教育機関だけでなく、市民も化学の重要性を認識し、日本が誇る化学技術を未来へ向けて伸ばしていく。

プラスチックと環境のいい関係



プラスチックは通常、微生物に分解されないもの。でもBASF(ビーエーエスエフ)のプラスチック「エコパイオ」なら、一定の条件下におくと完全に分解されて無くなります。つまり生ゴミの収集にこの袋を使えば、ゴミをまるごと有益な堆肥に変えられるのです。今日使うゴミ袋が、環境にやさしい明日につながるように。BASF。私たちは化学でいい関係をつくります。

BASFは、世界をリードする化学会社です。
www.wecreatechemistry.com

BASF
The Chemical Company